

# おはなしひろば

2018年

鹿沼市立図書館栗野館発行 TEL85-2259

2.3月号

まざあぐらす・ノアの会 編集

毎日寒くて、家の中にいる時間が多くなってしまう  
このごろ。みんなでこたつに入りながらの読書は、  
心も温めてくれることでしょう。  
図書館でも楽しいおはなしを用意していますので、  
遊びに来てくださいね。



## 2・3月の予定

どようび ござん 土曜日の午前10:30～ たのしいてあそび こうさく 楽しい手遊びや工作もあります。

月 / 日	絵 本	紙 芝 居
2月 3日	せつぶんのひのおにいっか	かみしばいおに
2月 10日	みーんなパンダ	ふしぎなはこ
2月 17日	おかあさんとわるいきつネ	こうさぎと7いろのマフラー
2月 24日	はるまちくまさん	ぶんぶくちやがま
3月 3日	まほうのケーキつくりましょ	ブーくんのおひなさま
3月 10日	にげだしたひげ	マーシャとくま
3月 17日	ベンとアンガス	おひさまのこども
3月 24日	はるがきた	ぼろぼろじまのたからもの
3月 31日	とらとほしがき	なんだろう



20回達成!

ゆづきちゃん  
たかまさくん



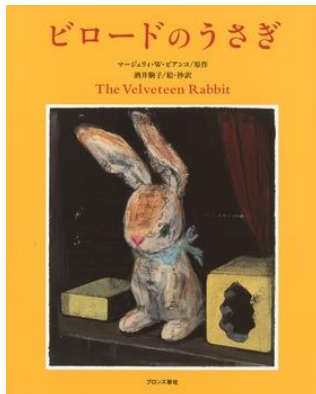
# おすすめしますステキな絵本



## 愛の絵本紹介

「ビロードのうさぎ」

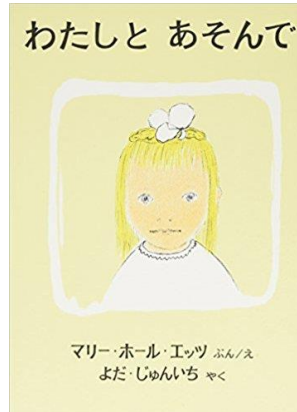
作：マージェリイ・W・ピアンコ  
絵・訳：酒井駒子 ブロンズ社



クリスマスにぼうやのもとにやってきたビロードのうさぎ。  
部屋のすみで小さくなっていたうさぎは「子どもに愛されたおもちゃはいつかほんものになれる」ことを知ります。ビロードのうさぎにまほうがおとずれて…。

「わたしとあそんで」

作：マリー・ホール・エッツ  
訳：よだじゅんいち福音館書店



野原にとびだした女の子と、バッタやカエルなどの小さな動物との交流を、このうえなくあたたかくうたいあげた絵本。生きとし生けるものが共感しあえる世界を、静かに語りかけています。

「100万回生きたねこ」

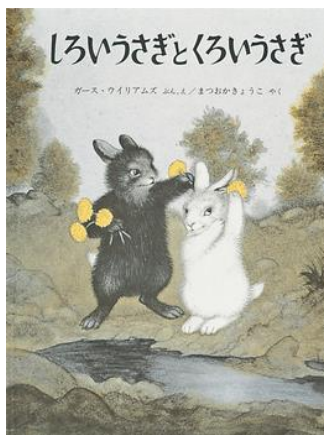
作・絵：佐野洋子 講談社



100万回も死んで、100万回も生きたねこがいました。100万人の人がそのねこをかわいがり、そのねこが死んだときに泣きました。一匹の白く美しいねこに魅せられ、やがて子どもが生まれ、自分よりも大切な家族を持つことに。そして…。

「しろいうさぎとくろいうさぎ」

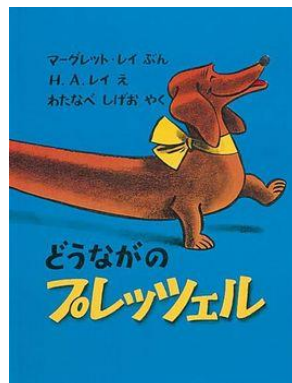
文・絵：ガース・ウィリアムズ  
訳：松岡享子 福音館出版



白いうさぎと黒いうさぎのやさしい愛の物語が墨絵のような濃淡でやわらかく語られます。森の情景の美しさ、こずえの葉のそよぎ、草のおいまでが2匹のうさぎを祝福しています。

「どうながのプレッツェル」

作：マーグレット・レイ  
絵：HAレイ  
訳：渡辺茂男 福音館書店

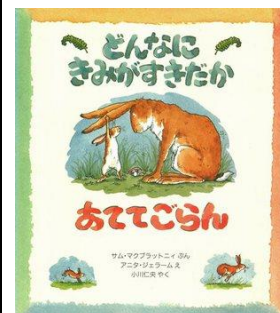


ダックスフントのプレッツェルは、ドッグショーで優勝し、得意満面。ところが幼むい犬のグレタは見向きもしてくれません。さあ、プレッツェルの愉快なプロポーズ作戦がはじまります。

「どんなにきみがすきだか

あててごらん」

作：サム・マクブラットニー  
絵：アニタ・ジェラーム  
訳：小川仁央 評論社



「きみがどんなにすきか」を競い合う、心温まるおはなしです。「すき」と表現する大切さをあらためて実感できます。大人の心も温めてくれる本です。

